□□□地区防災計画（例）

令和５年○○月

□□区自主防災組織

１　地区の概要

（１）地区の特徴

ア　地区の範囲

〇〇区全域

イ　地区の社会特性

・人口　約400人

・世帯数　約150世帯

・高低差の少ない平地に家屋等が多い。

・高齢者人口（65歳以上）が占める割合は45％と、高齢化が進んでいる。災害時避難行動要支援者が多く居住している。

・土砂災害警戒区域に指定されている場所がある。

・２級河川の〇〇川が流れており、過去に大雨で氾濫したことがある。

ウ　地区の災害リスク

・海に面しており、津波の被害を受けやすい地域。

・山間部では土砂災害警戒区域指定されている箇所が多くあり、警戒区域に居住している住民も多い。災害時には孤立するおそれもある。

・道路が狭くなっている箇所もあり、緊急車両の通行に支障が出る可能性あり。

・過去には倒木で通行止めになった箇所もあり。

・川沿いの地域では、川の増水による氾濫の危険性がある。

（２）今後想定される災害

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 災害種別 | 想　定 | 対　策 |
| 地震災害 | ・大規模地震が発生した場合、家屋の倒壊、土砂崩れが想定される。・地震に伴う津波のリスクがある。 | ・ハザードマップを平常時から確認しておく。・津波が発生したら、高台へ避難する。・避難する場合、ガスの元栓等を閉めるなどの出火防止に努める。 |
| 局所的大雨 | ・斜面の多い地域では、土砂災害が想定される。・〇〇川付近では、増水に伴い氾濫の危険がある。・〇〇堰が決壊した場合、浸水するおそれがある。 | ・高齢者等避難が発令されたら、避難に時間のかかる避難行動要支援者とその支援者は、避難を行う。・避難する際には、隣近所にも声かけを行い、速やかな避難を心掛ける。 |

【参考】地区の過去の災害（例）

|  |  |
| --- | --- |
| 災害名称及び災害発生年月日 | 災害による被害状況と当時の状況 |
| 平成29年台風21号 | 台風21号の接近により、強風、大雨、高潮の被害を受ける。高潮により、漁港付近では船が打ち上げられるなどの被害。 |
| 令和元年房総半島台風 | 台風接近に伴う停電。停電の長期化に伴い、断水が発生。地区集会所（一時避難場所）を開設。区民の受入れ。大雨により土砂災害、冠水が発生。台風の強風により、住家被害多数。倒木により、通行止めとなる箇所が多数発生。 |
| 令和2年7月豪雨災害 | 令和2年7月に大雨が発生し、地区内で土砂災害が発生。土砂崩れによりNTT柱が倒壊し、電話が不通となる。道路の陥没により、地区内で孤立する地域が発生。 |

２　防災活動

（１）活動目標

地区の住民の「命」を守るため、地区で防災に取り組む。

地域は自分たちで守る！　地域の共助で被害者を出さない！

地区に住んでいる住民みんなで考え、話し合いながら、安全・安心な地域をつくる！

（２）活動体制

３　地区防災マップ

【参考例：津波のケース】



【参考例：土砂災害のケース】



※　南房総市の防災マップ、WEB版防災ハザードマップ及びため池ハザードマップは、市ホームページから閲覧できます。なお、WEB版防災ハザードマップは住所で検索ができます。

４　防災関係施設・資機材等リスト

（１）避難所

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 類　別 | 施設名 | 住　所 | 避難所開設者 | 電話番号 |
| 指定緊急避難場所（一次避難所） | 〇〇集会所 | 南房総市〇〇 |  | 　 |
| □□公会堂 | 南房総市□□ |  | 　 |
| 指定避難所 | 〇〇センター | 南房総市〇〇 |  | ☎ |

（２）関連機関・施設の連絡先

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 類　別 | 施設名 | 住　所 | 電話番号 |
| 市役所 | 南房総市役所消防防災課 | 南房総市富浦町青木28 | ☎0470-33-1052 |
| 市役所 | 〇〇地域センター |  | ☎ |
| 医療機関 | 〇〇病院 | 南房総市〇〇 | ☎ |
| 消防署 | 安房郡市消防本部 | 館山市北条686番地1 | ☎0470-22-0119 |
| 警察駐在所 | 館山警察署〇〇駐在所 | 館山市北条648番地1南房総市〇〇 | ☎0470-23-0110☎ |
| 電気 | 東京電力 |  | カスタマーセンター☎0120-99-5007 |
| ガス | 東京ガス |  | ☎ |
| 水道 |  |  | ☎ |
| 災害用伝言ダイヤル |  |  | ☎171 |

（３）保有防災資機材リスト（例）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 物　品 | 数　量 | 保管場所 | 備　考 |
| 発電機 | 1 | 〇〇公民館 | 　 |
| ヘルメット | 30 | 〇〇公民館 | 　 |
| 毛布 | 10 | 〇〇公民館 |  |
| ブルーシート | 15 | 〇〇公民館 |  |
| 保存食 | 100食 | 〇〇公民館 | 期限　R10.3.31 |
| 保存水 | 500ml 　50本 | 〇〇公民館 | 期限　R10.3.31 |

５　地区防災タイムライン

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| □□地区自主防災組織 | 住民 | □□市町村 |
| 命の危険が迫っているために直ちに身の安全を確保 | 緊急安全確保 |
| 住民への避難の呼びかけ避難誘導開始 | 危険な場所から全員避難（隣近所への呼び掛け） | 避難指示の発令 |
| 地区災害対策本部設置被害・避難状況の全体把握要配慮者の支援開始 | 避難に時間のかかる要配慮者とその支援者は避難 | 高齢者等避難の発令 |
| 役員への連絡地区の状況確認 | 自分の避難行動を確認 |  |
| テレビや銚子地方気象台等から情報収集 |

●□□自主防災組織タイムライン（水害版）



●□□自主防災組織タイムライン（地震版）※震度６弱以上を想定

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 経過時間 | 一般的な出来事 | □□地区自主防災組織 | 住民 | □□市町村 |
| 初動対応 | 発災直後 | 地震発生建物倒壊、出火が始まる停電、断水、ガスが止まる | 身の回りの安全確保情報収集開始 | 身の回りの安全確保火元の確認、出火防止 | 災害対策本部設置（職員参集） |
| 1時間まで | 救命救急活動火災が拡大二次災害の呼びかけ | 地区災害対策本部設置安否確認や被害情報収集地区の見回り開始要配慮者支援 | 指定緊急避難場所（一時避難場所）へ避難 | 防災行政無線で、住民へ注意喚起の放送被害状況調査 |
| 応急対応 | ６時間まで | 被害の中心地や範囲が判明 | 避難所開設準備資機材の搬入、設置 | 指定避難所（広域避難所）へ移動 | 避難所担当職員が避難所を開設 |
| 1日まで | 自衛隊が到着 | 給水、給食活動避難者の体調管理 |  | 支援物資の発送 |
| ３日まで | 広域火災が鎮火、停電解消ボランティア支援開始生き埋めなどの生存低下 | ボランティアと連携開始在宅避難者の把握と支援 |  | ボランティアセンター開設応急危険度判定 |
| 復旧期 | 2週間まで | 行方不明者の捜索完了仮設住宅の建設水道やガスの復旧 |  |  | 住家被害認定調査 |
| 復興期 | 1か月後 | 仮設住宅入居開始 | 地区対策本部解散 |  | 罹災証明書発行被災者支援制度 |